

株式会社村松製油所

従業員数
15名まるっとプラン
15,840円

静岡県浜松市/製造業

事業概要

食用油の製造から販売までを行っている企業です。本事業では、照明設備、ボイラ・給湯器、生産設備において省エネ診断を受診し、運用改善1件、投資改善5件の提案を受けました。



省エネ効果

 エネルギー削減量
(原油換算値)

30.5 kl/年

 費用削減額

359.1 万円/年

※ 端数処理を切り捨ててに行っているため、合計値と内訳の合計が不一致となる場合があります。

登録診断機関からのコメント

食用油の製造販売を業としています。エネルギーとして電力とA重油を使用しています。エネルギーの月ごとの使用量（原油換算）の変化を添付しました。電気は、夏季の使用量が大きい傾向にあり、月ごとの最大電力（kW）の変動が大きい点に注意が必要です。A重油は、一年中コンスタントに使用しているものと推測されます。

基準年度における環境負荷は次のとおりです。

- (1)CO2排出量：390.2t-CO2/年
- (2)原油換算：160.221kℓ/年

今回の診断は、受診組織の意向に沿って、ボイラー、生産設備（モータ類）、照明設備に焦点を当てました。掘り起こした省エネポテンシャルは、原油換算で30.679kℓ/年、省エネ率は19.1%でした。

事業者様の声

小社では、生産から環境（インフラ）を含め、工場全体に置ける設備の「老朽化」が直面している課題です。今回、実施した省エネ診断の【結果】より、優先的に取り組むべき対象の設備、且つ、順位を判断（決断）することができる様になりました。早速、今後の投資計画に反映させて、順番に取り組んでいきます。

照明設備

運用改善
投資改善

- 工場の照明はレフランプ（500W）、恒温倉庫照明は蛍光灯が設置されています。これらの照明をLED灯に更新することで省エネを図ります。



2.3 kl/年



38.2 万円/年

ボイラ・給湯器

運用改善
投資改善

- ボイラ室に1979年製の炉筒煙管ボイラ（KMH-4A）が1台設置されています。バーナの空気比を必要以上に大きくすると、排ガスによる熱損失が増加します。空気量を適正な数値に修正することで省エネを図ります。
- ボイラ室、ごま油精製工場、抽出工場の蒸気バルブには保温が施されていないため無駄な放熱があります。又、ボイラ室及び工場内蒸気配管の一部に裸配管があります。保温カバーを取付けて熱放散の防止を図ります。

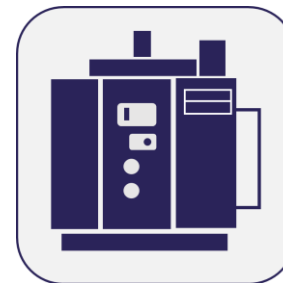
【その他以下の提案を含む】
高効率機への更新



18.3 kl/年



159.3 万円/年



生産設備

運用改善
投資改善

- 圧搾工場内で使用中の三相モータ（11kW×2台）を高効率モータ（IE3）に更新することにより省エネを図ります。生産設備のオーバホール時に併せて実施することを推奨します。尚、更新後のモータは回転数がアップするのでベルト駆動のプーリー径の大きさの変更が必要となります。（プーリー比の変更）

【その他以下の提案を含む】

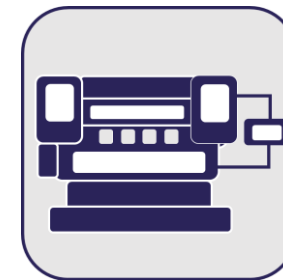
ポンプ、ファン、ブLOWERへのインバータ導入



9.8 kl/年



161.6 万円/年



空調

照明

ボイラ
給湯

受変電

コンプレッサ

デマンド

冷凍
冷蔵生産
設備

工業炉

給排水